

# テンプレート新興国小型株ファンド

## 愛称：ライジング・フォース

追加型投信／海外／株式

作成対象期間：2021年8月21日～2022年8月22日

第 5 期 決算日：2022年8月22日

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
当ファンドは、円建ての投資信託証券への投資を通じて、新興国小型株式等を高位に組み入れる運用を行います。ここに運用状況をご報告申し上げます。  
当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

#### 第5期末 (2022年8月22日)

基準価額	13,332円
純資産総額	2,632百万円
騰落率	+6.9%
分配金合計 <sup>(*)</sup>	10円

(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

(\*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。


閲覧・ダウンロード方法



<https://www.am.mufg.jp/>

[ファンド検索] に  
ファンド名を入力

各ファンドの詳細ページで  
閲覧およびダウンロード

 **MUFG** 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

#### ■当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用  
フリーダイヤル  **0120-151034**

(受付時間：営業日の9：00～17：00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

# 運用経過

第5期：2021年8月21日～2022年8月22日

## 当期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第5期首	12,481円
第5期末	13,332円
既払分配金	10円
騰落率	6.9%

(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

### 基準価額の動き

基準価額は期首に比べ6.9%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

## 基準価額の主な変動要因

### 上昇要因

ニュー台湾ドル、香港ドルなどが対円で上昇したことに加え、「DAQO NEW ENERGY CORP」（中国、情報技術）や「BAJAJ HOLDINGS & INVESTMENT LTD」（インド、金融）などの保有銘柄が上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

※参考指数は、MSCI エマージング・マーケット・スモール・キャップ インデックス（配当込み、円ベース）です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

※参考指数は、期首の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

2021年8月21日～2022年8月22日

▶ 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	256	1.969	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
( 投 信 会 社 )	(144)	(1.106)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
( 販 売 会 社 )	(108)	(0.829)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	(4)	(0.033)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.003	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
( 監 査 費 用 )	(0)	(0.003)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	256	1.972	

期中の平均基準価額は、13,020円です。

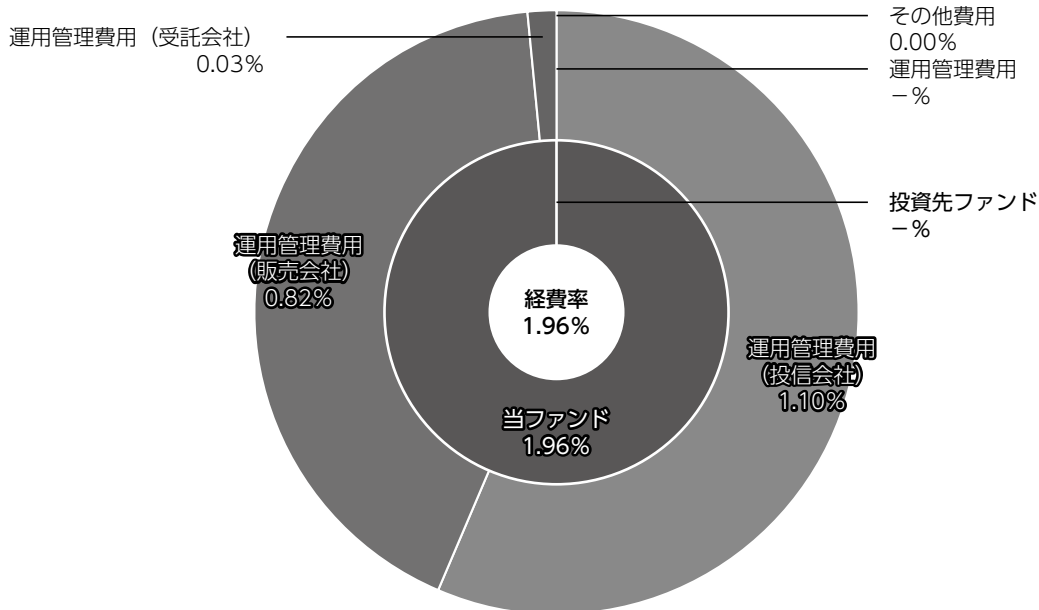
- (注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

- (注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。
- (注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**経費率（年率）は1.96%**です。



経費率 (①+②)	(%)	1.96
①当ファンドの費用の比率	(%)	1.96
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	(%)	-

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、前記には含まれておりません。

2017年8月22日～2022年8月22日

最近5年間の基準価額等の推移について



※分配金再投資基準価額、参考指数は、設定時の値を基準価額と同一となるように指数化しています。  
 ※海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

最近5年間の年間騰落率

		2018/8/20 期初	2019/8/20 決算日	2020/8/20 決算日	2021/8/20 決算日	2022/8/22 決算日
基準価額	(円)	9,727	8,821	8,498	12,481	13,332
期間分配金合計 (税込み)	(円)	—	0	0	0	10
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	-9.3	-3.7	46.9	6.9
参考指数騰落率	(%)	—	-14.2	4.8	45.8	7.9
純資産総額	(百万円)	10,792	5,594	3,898	3,462	2,632

※ファンド年間騰落率は、参考指数年間騰落率と比較するため、収益分配金（税込み）を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※騰落率および期間分配金合計については、年間の値を表示しており、期間が1年に達していない場合には表示していません。

参考指数は、MSCI エマージング・マーケット・スモール・キャップ インデックス（配当込み、円ベース）です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

第5期：2021年8月21日～2022年8月22日

## 投資環境について

### ▶ 株式市況

当期のエマージング株式市場（米ドル建て）は下落しました。

規模別では、大型株の下落幅と比べ、小型株の下落幅は小幅となりました。

### ▶ 為替市況

期首に比べニュー台湾ドル、香港ドルなどが対円で上昇しました。

### ▶ 国内短期金融市場

無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移しました。

当期の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、足下のコール・レートは-0.014%となりました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ **テンプレトン新興国小型株ファンド**  
ルクセンブルグ籍の外国投資法人であるフランクリン・テンプレトン・インベストメント・ファンズーテンプレトン・エマージング・マーケッツ・スモラー・カンパニーズ・ファンドの円建ての投資信託証券（クラスY（Y d i s）J P Y）への投資を通じて、新興国小型株式等を高位に組み入れる運用を行いました。また、マネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券を一部組み入れた運用を行いました。

▶ **フランクリン・テンプレトン・インベストメント・ファンズーテンプレトン・エマージング・マーケッツ・スモラー・カンパニーズ・ファンド（クラスY（Y d i s）J P Y）**  
新興国の株式等のうち、主として新興国で登記されている小型企業の株式等へ投資を行いました。銘柄選定にあたっては、徹底的な調査活動による長期業績予想に基づき、独自に算出した企業の適正価値に対して割安と判断される銘柄に投資をしました。

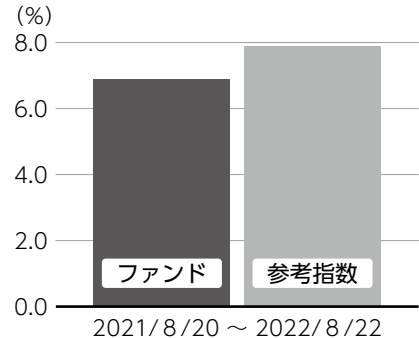
▶ **マネー・マーケット・マザーファンド**  
コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。

## 当投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率との対比です。

参考指数はMSCI エマージング・マーケット・スモール・キャップ インデックス（配当込み、円ベース）です。

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



※ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

## 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第5期
	2021年8月21日～2022年8月22日
当期分配金（対基準価額比率）	10 (0.075%)
当期の収益	10
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	3,331

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。



## 今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

- ▶ **テンプレートン新興国小型株ファンド**  
ルクセンブルグ籍の外国投資法人であるフランクリン・テンプレートン・インベストメント・ファンズーテンプレートン・エマーシング・マーケッツ・スモラー・カンパニーズ・ファンドの円建ての投資信託証券（クラスY（Y d i s）J P Y）および証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンドへの投資を行います。
- ▶ **フランクリン・テンプレートン・インベストメント・ファンズーテンプレートン・エマーシング・マーケッツ・スモラー・カンパニーズ・ファンド（クラスY（Y d i s）J P Y）**  
インフレにより政策当局は引き続き様々な課題に直面しています。エネルギー、食料、賃金コストの上昇は、世界的なインフレ率の上昇につながっています。運用チームでは、主要な新興国においてエネルギー価格のインフレは穏やかで、新興国全体のインフレへの問題は先進国に比べ比較的落ち着いていると見ています。例えば、エネルギーや食品などの小売価格は先進国に比べ、新興国では当局により統制しやすいものとなっています。加えて、石炭などは中国やインドが、食品では中国やインド、ブラジルなどが自国

内で調達可能となっており、比較的安価に調達しやすく、インフレ問題を軽微なものとしていると考えています。

新興国の長期的な成長は引き続き可能と、運用チームではみています。国際通貨基金（IMF）が2022年7月に公表した成長率見通しでは、先進国の成長率は2022年の2.5%から2023年には1.4%へと減速する一方、新興国は2022年の3.6%から2023年には3.9%に加速すると予測されています。運用チームでは、財政金融政策運営で健全さが引き続き高まれば、新興国市場の長期的な見通しにプラスに働くと考えています。

新興国株の企業には、将来の持続的な経済成長を牽引する新たな技術を有する企業が数多く集まっているとみてます。太陽電池や電気自動車のバッテリーメーカー、半導体の設計メーカーまで、新興国における技術革新の加速により、新興国株式市場は引き続き有望であると考えています。現在の新興国株式市場は上値が重く、一部では厳しい局面との見方もあるかもしれませんが、将来的な成長に向けての投資を行っている技術的優位性を持つ企業には引き続き投資機会があると、運用チームでは考えています。

引き続き、新興国の株式等のうち、主として新興国で登記されている小型企業の

株式等へ投資を行います。また、事業活動の中心が新興国である小型企業の株式等や、新興国で登記されている小型企業への出資を通じて実質的に主な事業活動を新興国にて行う小型持株会社の株式等にも投資をする場合があります。銘柄選定にあたっては、徹底的な調査活動による長期業績予想に基づき、独自に算出した企業の適正価値に対して割安と判断される銘柄に投資します。

▶ **マネー・マーケット・マザーファンド**

今後も日銀による金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は引き続き低位で推移すると予想しています。以上の見通しにより、コール・ローン等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

# お知らせ

## ▶ 約款変更

- ・投資先ファンドの事務体制変更により短縮可能となったため、適用基準価額の変更（約款第13条第1項の場合の受益権の価額（「（旧）取得申込みを受け付けた日の翌々営業日の基準価額」から「（新）取得申込みを受け付けた日の翌営業日の基準価額」）を行うため、信託約款に所要の変更を行いました。（2021年12月24日）

## ▶ その他

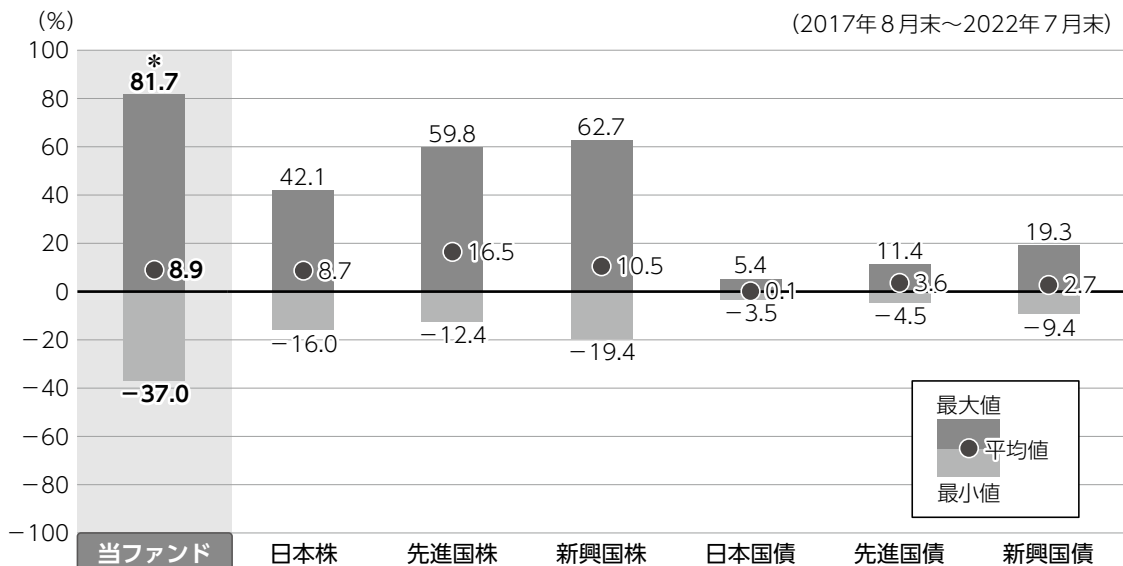
- ・該当事項はありません。

\*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。  
 なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）にて開示を行っている場合があります。

# 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2027年8月20日まで（2017年8月31日設定）
運用方針	外国投資法人であるフランクリン・テンプレートン・インベストメント・ファンズーテンプレートン・エマージング・マーケット・スモラー・カンパニーズ・ファンドの円建ての投資信託証券（クラスY（Y d i s）J P Y）への投資を通じて、主として新興国の小型株式等（預託証券を含みます。）に投資を行います。なお、証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券への投資も行います。外国投資法人の投資信託証券への投資は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要投資対象	<p>■当ファンド</p> <p>フランクリン・テンプレートン・インベストメント・ファンズーテンプレートン・エマージング・マーケット・スモラー・カンパニーズ・ファンド（クラスY（Y d i s）J P Y）およびマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券を主要投資対象とします。</p>
	<p>■フランクリン・テンプレートン・インベストメント・ファンズーテンプレートン・エマージング・マーケット・スモラー・カンパニーズ・ファンド（クラスY（Y d i s）J P Y）</p> <p>新興国の株式等（預託証券を含みます。以下同じ。）に投資を行います。新興国の株式等のうち、主として新興国で登記されている小型企業の株式等へ投資を行います。また、事業活動の中心が新興国である小型企業の株式等や、新興国で登記されている小型企業への出資を通じて実質的に主な事業活動を新興国にて行う小型持株会社の株式等にも投資をする場合があります。</p>
	<p>■マネー・マーケット・マザーファンド</p> <p>わが国の公社債等を主要投資対象とします。 外貨建資産への投資は行いません。</p>
運用方法	新興国の株式等を実質的な主要投資対象とし、主として中長期的な値上がり益の獲得をめざします。
分配方針	<p>経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p> <p>分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）</p>

# ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2017年8月から2022年7月の5年間に於ける1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

\*ファンドについては2018年8月～2022年7月の同様の騰落率を表示したものです。

## 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)
日本国債	NOMURA-BPI (国債)
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本)
新興国債	JPMorgan Global Diversified

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

# 当該投資信託のデータ

2022年8月22日現在

## ▶ 当該投資信託の組入資産の内容

### 組入ファンド

(組入銘柄数：2銘柄)

ファンド名	第5期末 2022年8月22日
フランクリン・テンプレートン・インベストメント・ファンズーテンプレートン・エマージング・マーケット・スモラー・カンパニーズ・ファンド (クラスY (Y d i s) J P Y)	99.4%
マネー・マーケット・マザーファンド	0.0%

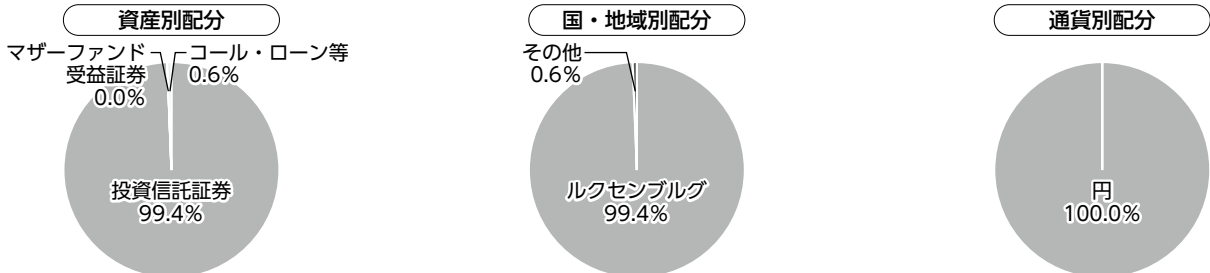
※比率は当ファンドの純資産総額に対する各投資信託証券の評価額の割合です。

### 純資産等

項 目	第5期末 2022年8月22日
純資産総額 (円)	2,632,958,740
受益権口数 (口)	1,974,911,721
1万口当たり基準価額 (円)	13,332

※当期中において追加設定元本は83,612,414円  
同解約元本は 882,595,047円です。

### 種別構成等



※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

※【国・地域別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行地、発行通貨を表示しています。

2021年6月30日現在

組入上位ファンドの概要

▶ フランクリン・テンプレートン・インベストメント・ファンズーテンプレートン・エマーシング・マーケット・スモラー・カンパニーズ・ファンド（クラスY（Y d i s） J P Y）

基準価額の推移



基準価額の推移以外の開示情報につきましては、クラス分けされたものがないため、「フランクリン・テンプレートン・インベストメント・ファンズーテンプレートン・エマーシング・マーケット・スモラー・カンパニーズ・ファンド」ベースで表示しています。

1万口当たりの費用明細

2020年7月1日～2021年6月30日  
 ファンドが投資対象とする投資信託証券では運用管理費用（信託報酬）はありません。

※上記には、分配金が含まれていません。

▶ フランクリン・テンプレートン・インベストメント・ファンズーテンプレートン・エマーシング・マーケット・スモラー・カンパニーズ・ファンド

組入上位10銘柄

(組入銘柄数：87銘柄)

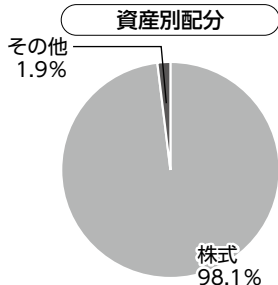
	銘柄	種類	国・地域	比率(%)
1	SILICON WORKS CO LTD	株式	韓国	4.2
2	MERIDA INDUSTRY CO LTD	株式	台湾	3.1
3	NOVATEK MICROELECTRONICS CORP	株式	台湾	3.1
4	BAJAJ HOLDINGS & INVESTMENT LTD	株式	インド	3.1
5	HEALTH & HAPPINESS H&H INTERNATIONAL HOLDINGS LTD	株式	中国	2.8
6	FILA HOLDINGS CORP	株式	韓国	2.7
7	HOA PHAT GROUP JSC	株式	ベトナム	2.6
8	ZINUS INC	株式	韓国	2.4
9	FPT CORP	株式	ベトナム	2.4
10	MOMO.COM INC	株式	台湾	2.3

※比率はマスターファンドの純資産総額に対する割合です。

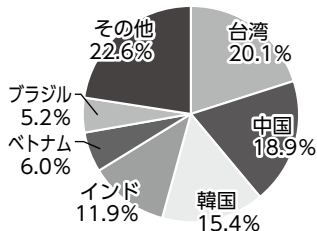
※国・地域はBloombergによるCountry of Riskに基づき掲載しております。

※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

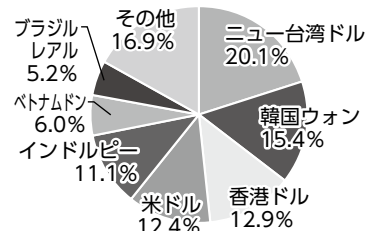
## 種別構成等



**国・地域別配分**



**通貨別配分**



※比率はマスターファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。  
 ※国・地域はフランクリン・テンプレトン独自の判断により分類したものです。



968469

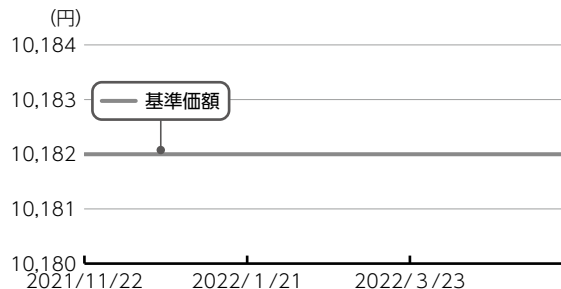
2022年5月20日現在

組入上位ファンドの概要

マネー・マーケット・マザーファンド

基準価額の推移

2021年11月22日～2022年5月20日



1万口当たりの費用明細

2021年11月23日～2022年5月20日

当期において費用が発生していないため、費用明細は作成しておりません。

組入上位10銘柄

(組入銘柄数：2銘柄)

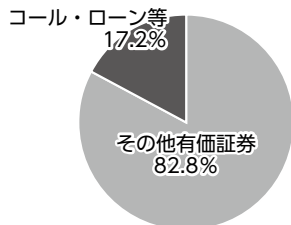
順位	銘柄	種類	国・地域	業種/種別	比率(%)
1	J Aミツイリース 220523	その他有価証券	日本	コマーシャル・ペーパー	69.0
2	ホクエツコーポ 220523	その他有価証券	日本	コマーシャル・ペーパー	13.8
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。  
※原則、国・地域については、発行地を表示しています。

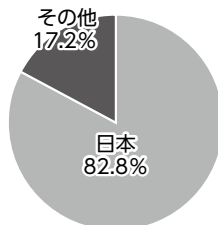
※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

種別構成等

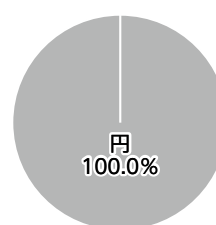
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。  
構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。  
※原則、国・地域については、発行地を表示しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等(国内外)を相手先とし他のファンドの余剰資金等と合せて運用しているものを含みます。

# 指数に関して

## ▶ ファンドの参考指数である『MSCI エマージング・マーケット・スモール・キャップ インデックス (配当込み、円ベース)』について

MSCI エマージング・マーケット・スモール・キャップ インデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国の小型株式で構成されています。

MSCI エマージング・マーケット・スモール・キャップ インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI エマージング・マーケット・スモール・キャップ インデックス (ネット配当込み、米ドルベース) をもとに、委託会社が計算したものです。また、同指数に対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

## ▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

### ● 東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの数値及びTOPIXに係る標準又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社 (以下「JPX」という。) の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標準又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。

### ● MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)

MSCI コクサイ・インデックス (配当込み) とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ● MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)

MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み) とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ● NOMURA-BPI (国債)

NOMURA-BPI (国債) とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI (総合) のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

### ● FTSE世界国債インデックス (除く日本)

FTSE世界国債インデックス (除く日本) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っていません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

### ● JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。



三菱UFJ国際投信